



さとやか

苅田町青少年育成町民会議だより

2010朝の声かけ運動



10月8日(金)くもむり

苅田町青少年育成町民会議では、委員による「朝の声かけ運動」を実施した。

集合時間の7時半過ぎ、各学校に黄色のジャンパーを着た委員が、校門前でお出迎え。

通学路から子どもたちが続々と足早にやってくる。「おはよう」と手を振り優しく声をかける。

「大人が変われば、子どもも変わる。」を主題テーマに、互いの個性を認めるなどの大切さや生命の尊さについて、「子どもたちと語り合おう」、「近所の子どもたちにも関心を持つて」「接し、子どもたちを地域とのかかわりの中で育てて」といって。

子どもたちを見守る姿は、笑顔だが、日は周囲を注意深く見回していた。

委員のプライドと責任感がひしひしと感じられた朝のひとときだった。

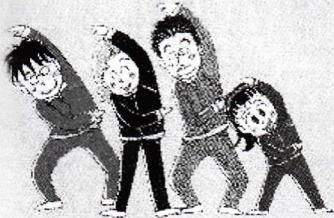


みんなで 育てよう 青少年

11月は全国青少年健全育成強調月間

全ての青少年のすこやかな成長を願って…。

ルールを守るものは、
ルールに守られる。



わが家のルールを作りましょう



○わが家のルール10か条

- 遊びに行く時は、「どこへ行く」「だれと遊ぶ」「何時に帰る」の3つを必ず伝えてから出かけること。
- 外で遊ぶ時は、絶対に1人で遊ばないこと。
- たとえ友だちといっしょでも、あぶない場所には近づかないこと。
- 暗くなる前に帰ること。
- 知らない人に声をかけられたら、はっきり断ること。
- いい人に見えて、絶対について行かないこと。
- 危険を感じたら大声を出して助けを呼ぶこと。
- 友だちが危険なめにあつたら、絶対に自分で助けようとせずに、大人の人を呼ぶこと。
- 人通りの多い所や明るいお店など、安全な場所に逃げること。
- どんな小さなことでも、変な人やあやしい車を見かけたら、親や先生に必ず教えること。



家庭教育講演会「優しい心が一番だよ」

小森 美登里 さん

～いじめで死に追いつめられた娘のメッセージを伝えたい～

■平成23年1月28日(金)

○会場／苅田町立中央公民館
第5研修室

○受付／17:30～

○入場料／無料



プロフィール
小森美登里 Midori Komori



昭和32年、神奈川県生まれ。

平成10年、当時高校入試間もない一人娘の香澄さんがいじめにより自らの人生に終止符をうつ。香澄さんの「優しい心が一番だよ」というメッセージを一人でも多くの人に伝えるべく、NPO法人「ジェントルハートプロジェクト」を夫・新一郎さんとともに立ち上げる。現在は学校を中心に、いじめや暴力のない社会づくりのために講演活動を続けている。



鹿児島刑務所を訪問しました。この刑務所は、明治41年に建設され、石づくりの刑務所としては、我が国で最も古く、尚古集成館や五大石橋とともに、鹿児島の貴重な石造建築物であるとされています。昭和60年に始良郡湧水町に移転され、現代では正門だけが残り、中世ヨーロッパの城門を思わせる独特的のゴシック建築様式であり、国の登録文化財に登録されています。

鹿児島刑務所は男子懲役受刑者のうち主として、実刑期10年未満で20歳以上の犯罪傾向が進んでいる者を705名ほど収容しています。

一般的な刑務所の目的と、罪を犯した者に厳しい罰を与える、罪の報いを受けさせることと考えるかもしれません、近年、刑務所の目的は、受刑者の社会復帰であると考えられており、法も明確にそのことを定めています。



少年補導員
今屋 厚志

補導環境部会視察研修

10月29日、

環境に応じた、社会生活適応能力を育成するため、受刑者の自覚を促しながら、技術や資格を習得できる施設となっています。具体的に次のような待遇プログラムを用意していました。矯正処遇の内容として、生産作業（洋裁・金属加工など）、自営作業（営繕・炊事・洗濯など）、訓練作業（溶接・測量・農業園芸など）がありました。また、教育として一般改善指導（酒害教育・自己啓発）、特別改善指導（薬物依存離脱・就労支援）、教科指導（補修教科・特別教科）など、それらの刑に沿った矯正作業・教育が行われています。

私たちも矯正作業の一部を見学しましたが、受刑者は1日でも早い社会復帰を願つて真剣に作業に取組んでいました。再び罪を犯し、入所するケースも多いと聞きましたが、作業に取組む姿勢を見ている限りでは、更生される事は間違いないのではないかと思いました。そして、私たち補導環境部会の取組みにより、このような施設へ収容されることがないように子どもたちを見守つて行ななければなりません」と、気持ちを新たに持つて研修を終了しました。

第10回子どもフェスティバル

→今、話題の
「グググの鬼太郎一家」
上出来ヨツ!!



2010.10.24. あいにくの雨模様でしたが、たくさんの友だちの笑顔に会いました。それにより、催す側も多くの方々のご支援と力をいただき、無事終了したことを感謝しております。来年は、11回! 気持ちを新たにして、挑戦して行きたいと思います。…ありがとうございます…

(子どもフェスティバル実行委員長 田口朝子)



23年度のリーダー募集

平成23年度 荘田町子ども会育成連合会のイベントのリーダーを募集します。いろんな体験を通して自発性・協調性を促し、健全育成を目指しています。



インリーダー:小学生を対象(4・5・6年)
ジュニアリーダー:中・高生を対象



一人でも多くの方たちの協力・支援のもと、幅広く有意義な子ども会活動にして行きたいと思っています。皆様のご協力をお待ちしております。

申し込み先

莊田町子ども会育成連合会 会長 田口朝子
事務局 荘田町中央公民館内
TEL 090-4589-3200
FAX 093-434-0456

バア～バアの一言 No.17



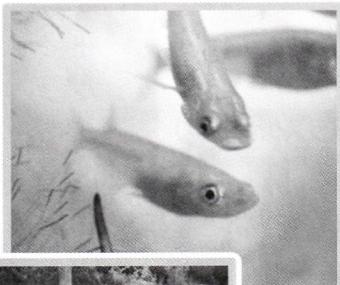
バア～バアが石の上に腰掛けていると、2歳くらいの子どもが近づいて来て可愛らしい言葉、やさしいしぐさをするのです。するとバア～バアの心は穏やかになり、この子の未来に平和と幸多かれと願わずにいられなくなります。さらに「もう少し頑張ろう」と力が湧き、前に歩き出そうとしている私がいるのです。子どもたちから勇気と力をもらえるのです。

こんなバア～バアも歳を重ねると、「教えたい、伝えたい」と思うことが多すぎ、つい口説くなり嫌がられるのです。言葉のかけ方や支援の仕方で子どもや若者の反応は異なります、ここはバア～バアも勉強せないけんところですね。自分本位に考えず若者の考えも聞きながら一緒に勉強し「ともに未来に羽ばたこう」と考えると楽しいのです。

バア～バアは、これまで多くの失敗と後悔を繰り返してきました。そんな経験から思うのです、「今日という日はまたと無い、明日を迎えるには今日が大切」自分のなりたいもの、したいことはいろいろあるでしょうが、先のことばかり考えず、今日を大切にして欲しいのです。「人生は一度きり」です。

今の時代は、コミュニティ(社会)がない…と聞きますが、人間が居ないということかな?《人》の字は支えあうの意、《人間》は人と人の間に生きる意です。コミュニティがなければ、人は育ちませんよねえ。これからの方もはどうなるんでしょう…。そこで昔のコミュニティづくりの極意を知っているバア～バアたちの出番です。バア～バアたちと若者の交流の機会をつくり「極意」を伝達したいのです。「あっ」…これも口説くなったり一方的ではいけんねえ…。 そんな時バア～バアの心に置いてある詩があるので紹介します。

『人に接する時は、春の暖かい心で、仕事をする時は、夏の燃える心で、考える時は、秋の澄んだ心で、自分に接する時は、冬の厳しい心で…』…「あなたはどんな心で接していますか」



ホタルの放流



絶滅危惧種であるメダカを
育てています。

ホタルの学習やダ力の学習には、地域の方や大学の先生を講師にお招きして一緒に、学習や活動をしてこます。

馬場小学校では、総合的な学習の時間を使って、四年生・五年生が地域の環境について学習しています。「めだかの学習」「ホタルの放流」「馬場小グリーンキッズ」の環境工「活動」を通して、地域の良さを知り大切に保護していくとする馬場つ子を目指しています。

四年生

馬場小グリーン

「リサイクルや廃品回収を行って譲り受けた物の中にも資源として再利用できるものがたくさんあることを理解してました。



ゴミ拾いをするキッズ隊

馬場小グリーンキッズ

☆私は、「みを捨てたい」とがありました。それを拾つててくれた人は、こんなに大変なことをしてくれて、いたのだと感つたり、「ああ、なんでもんな」とをしたんだついと感つたりになつてしまつた。これからは、拾つて貰ふ人の「ひとを離さない」みを玉となつて貰つて貰ふと感つます。

☆私は、こみ捨いといつわカンヤたまひの髪い
がりが、ほほ大人であるひとが分かりました。た
くさん、おがしゃビーチはすじやでわあこくわ
ことか分かりました。これがりが、ポイ捨てを
しないようにして田畠が田畠が田畠になる
ようになります。

(二) チェック隊の感想



全校でキャップを
集めています。



「木工あそび」

2010.10.24



カメラスケッチより



△○子どもたちと大人のふれあい広場○△

親子で室内競技

2010.8.1



健全育成講演会 開催

□日 時 11月30日(火) 午後7時~8時30分

11/30

□会 場 三原文化会館大ホール

□講 師 大分市勝光寺住職
南 慧 昭 氏(南 こうせつ実兄)

□演 題 「心の健康」～仏心は歌心～

□対 象 一般の方どなたでも

□費 用 無料

□主 催 莢田町青少年育成町民会議

□共 催 莢田町・莢田町教育委員会



サラリーマンを定年退職してから曹洞宗の修行を積み、悩める人たちの心に「ほっとする時空を与えよう」と生まれ故郷の大分を中心に九州各地から全国へと活動しています。日本人が忘れかけている、「人に対する思いやりや有り難うの一言を言える強さを持つ」と歌で呼びかけます。

皆様のお越しをお待ちしております。

出前歌説法
えしょうプロジェクト

編集・発行

莢田町青少年育成町民会議
すこやか編集委員会
093-434-9838



22年度すこやか編集委員会

編集長 松枝 玲子
委員 濱田 勝枝

荒鬼 勝枝
工藤 金丸
尾田 晴樹
文子 正志

すこやかは、まだ不慣れですが、任期の間は頑張っていきたいと思います。
よろしくご指導お願い致します。

濱田 勝枝

編集後記

今年度よりすこやか編集委員の仲間入りすることになりました、七月九日初めて編集委員会に出席しました。編集委員長の松枝さんは、子ども同士が同級生で、保育園からの長い付き合いです。

何十年も昔に馬場小学校の広報作りで一緒に足を運び、何度も校正を練り、やつと新聞が出来上がった時の達成感・安堵感を懐かしく思い出されます。

すこやかは、まだ不慣れですが、任期の間は頑張っていきたいと思います。